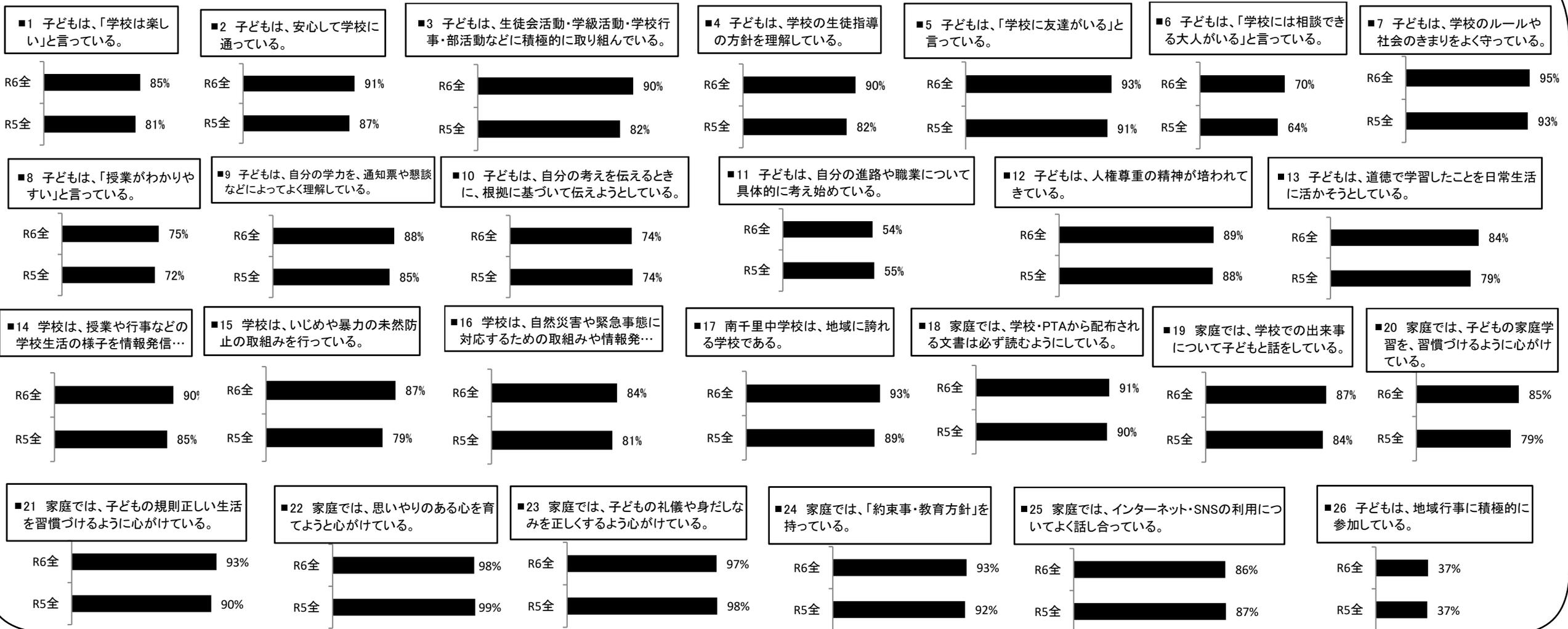


※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】

回答についてはさくら連絡網での入力を依頼し、回答率は89%でした。ご協力ありがとうございました。全体の傾向としては、昨年度と比べ、肯定的回答は上昇傾向が顕著に見られます。日頃から学校の話をお子様とも共有していただき、関心を高めていただくことで、本校教育活動もさらに好循環が生まれるものと考えております。学校教育目標「自ら学び、ともにつながり、やり抜く生徒の育成」のもと、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業研究、日常的・効果的なICT活用、全教職員で関わる人権教育、道徳教育、生徒会活動の推進等により、「安心・安全で、地域に誇れる学校づくり」をさらにめざしてまいります。生徒たちは発達途上ですので、様々な悩みやトラブルなどは当然のこと捉えています。そうしたときに早期に受け皿となるべく相談体制を整え、SSW・SCとの連携も回りつつ、生徒・保護者の皆様に寄り添いながら対応していきます。

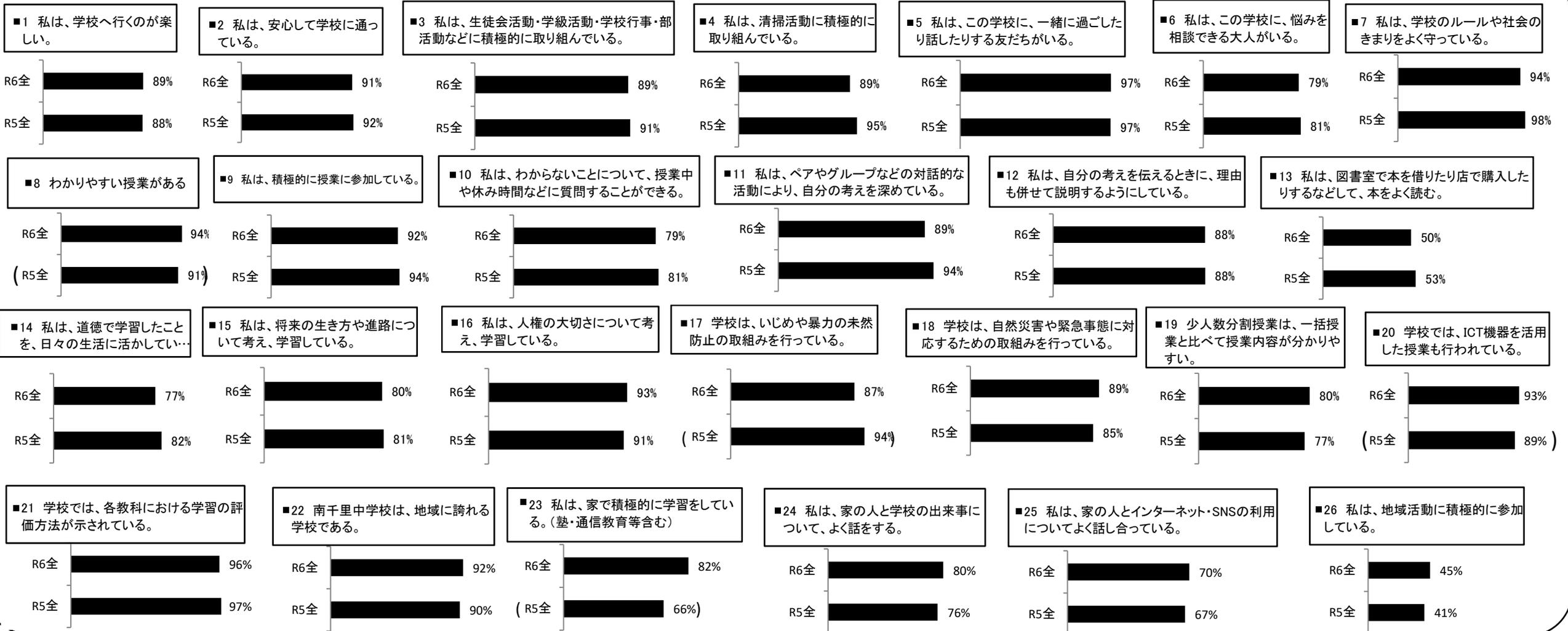
日々の様子は南中ブログ、学校だより等にて引き続き発信に努めます。「生徒も教職員も笑顔輝く南中」でありますように、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【アンケート結果から】

26設問中6問以外はすべて昨年度よりも肯定的回答が上昇しました。

設問1「子どもは『学校は楽しい』と言っている」は85%、設問2「子どもは安心して学校に通っている」、設問3「子どもは生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる」、設問4「子どもは学校の生徒指導の方針を理解している」では、90%を超える肯定的回答があり、昨年度よりも4pから8p増加しています。設問6「子どもは『学校には相談できる大人がいる』と言っている」では、肯定的回答は昨年度から6p増加し70%となっています。生徒の肯定的回答では今回も8割を推移しており、生徒と教職員との関係性の構築は一定数図られているものと考えます。設問8「子どもは『わかりやすい授業がある』と言っている」、設問10「子どもは自分の考えを伝えるときに根拠も併せて説明するようにしている」では、肯定的回答は75%、74%となっていますが、生徒の肯定的回答では94%、88%となっていることをご確認いただければと思います。設問11「子どもは自分の進路や職業について具体的に考え始めている」では、肯定的回答は昨年度から1p減で54%となりましたが、1月末には2年生がコロナ禍を経て、5年ぶりに職場体験を実施します。2学期後半から関連したキャリア教育を進めているところですので、ご理解ください。設問13「子どもは道徳で学習したことを日常生活に活かそうとしている」では、肯定的回答は84%で5p増、設問15「学校はいじめや暴力の未然防止の取組を行っている」では87%で8p増となり、道徳の研修やいじめ予防授業、デジタルシティズンシップ教育等教員研修の成果が見られます。特に、規範意識やトラブルが生じた際の指導において学校と保護者が同じ方向性で指導を行うことが課題解決に向けて有効に働きます。是非ともご理解、ご協力をお願いします。設問14「学校は授業や行事などの学校生活の様子を情報発信している」では、肯定的回答は5p上回り、90%のご賛同いただきました。引き続き、南中ブログ、学校だより、さくら連絡網などを通して、情報発信を積極的に行ってまいります。設問17「南千里中学校は地域に誇れる学校である」では、肯定的回答は93%で4p増、生徒回答においても92%で2p増となり、大変うれしく受け止めています。設問25「インターネット・SNSの利用についてよく話し合っている」では、肯定的回答は86%で1p減となりました。生徒回答においては7割となっており、乖離が顕著です。インターネットやSNSを介するトラブルは学校の介入が大変困難でもあります。加害、被害とならないためにも、お子様のインターネット・SNS等の利用についてご確認いただき、ご家庭でのルール作りやフィルタリングの徹底などよろしくお願い申し上げます。設問26「子どもは地域行事に積極的に参加している」では、肯定的回答は昨年度同様4割満たず、生徒回答は4p増の45%で

※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】 平素の学校生活では、男女の別なく、積極的に授業に参加し、行事にも一生懸命取り組み、落ち着いたようすが見られます。今年度も概ね、安心して学校に通い、楽しく学校生活を過ごす様子が表れています。しかしながら、半数を上回る設問で、昨年度より肯定的回答が数ポイント減少している様子がうかがえます。一方、設問22にあるように、「地域に誇れる学校」として92%の肯定的回答を得ています。誇れる学校、誇れる自分を大切にできる南千里中学校であり続けたいと考えます。

【アンケート結果より】

設問1「私は学校へ行くのが楽しい」、設問2「私は安心して学校に通っている」設問3「私は生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる」に対して、肯定的回答は9割程度で依然高い数値を推移している。設問4「私は清掃活動に積極的に取り組んでいる」に対して、肯定的回答は89%で、昨年度より6p低下した。校内環境の整備には生徒の意識が重要であるため、美化委員会や生徒会執行部が主体となって改善に取り組みたい。設問5「私はこの学校と一緒に過ごしたり話したりする友だちがいる」に対して、肯定的回答は昨年度と変わらず97%である。設問6「私はこの学校に悩みを相談できる大人がいる」に対して、肯定的回答は79%で、昨年度より2p下回っている。教職員との信頼関係の構築には今後も努力していきたい。設問7「私は学校のルールや社会の決まりをよく守っている」に対して、肯定的回答は94%で4p低下した。ルールの大切さを普段から意識できるよう声掛けしていきたい。設問8「私は授業が分かりやすいと思う」に対して、肯定的回答は90%を上回っている。引き続き校内研修等により授業力向上をめざしていく。(昨年度設問8「私は授業が分かりやすいと思う」から変更。次年度戻す予定) 設問9「私は積極的に授業に参加している」に対して、肯定的回答は92%を占める。昨年度同様、生徒が日々の学習に意欲的に取り組んでいることが読み取れる。設問10「私はわからないことについて、授業中や休み時間などに質問することができる」に対して、肯定的回答は8割ほどを推移している。生徒同士、教師生徒間での質問しやすい空気づくりをさらに進めていきたい。設問11「私はペアやグループなどの対話的な活動により、自分の考えを深めている」に対して、肯定的回答は89%であるが、昨年度比5p減少となった。対話的な活動が結果の共有のみになっていないか、さらに新たな課題発見を目指していけるよう、声かけが必要である。設問12「私は自分の考えを伝えるときに、理由も併せて説明するようにしている」に対して、肯定的回答は88%で、昨年度同様、高い水準を維持している。設問13「私は図書室で本を借りたり店で購入したりするなどして、本をよく読む」に対して、肯定的回答は50%で、昨年度比3p減少した。スマートフォン普及による、生徒の生活の変化がみられる。設問14「私は道徳で学習したことを、日々の生活に活かしている」に対して、肯定的回答は77%を占める。設問15「私は将来の生き方や進路について考え、学習している」に対して、肯定的回答は80%を占める。南千里中学校地域には進路への関心が高いご家庭も多く、生徒自身、早い段階から関心をもって日々の生活を送っていることがうかがえる。設問16「私は人権の大切さについて考え、学習している」に対して、肯定的回答は93%で、高い水準を維持している。(昨年度設問17「私はいじめや暴力はどんな理由があってもいけないことだと思う」から変更。次年度戻す予定) 設問18「学校は自然災害や緊急事態に対応するための取組みを行っている」に対して、肯定的回答は4p増加したこと、避難訓練等の取組みにおける生徒の理解度は深まっている。一方で、否定的回答が10%ほどあることからさらに意識向上を図る必要がある。設問19「少人数分割授業は一括授業と比べて授業内容が分かりやすい」に対して、肯定的回答は80%で昨年度より3p増加したこと、個に応じた指導の充実が効果を発揮できている。設問20「学校ではICT機器を活用した授業も行われている」は肯定的回答が93%となった。より効果的な活用が求められる。(昨年度設問20「学校では、ICT機器を活用した授業がほぼ毎日行われている。」から変更。次年度戻す予定。) 設問21「学校では各教科における学習の評価方法が示されている」に対して、肯定的回答は昨年度より1p減少しているが、ほとんどの生徒が評価方法を意識して授業に取り組んでいる。設問22「南千里中学校は地域に誇れる学校である」に対して、肯定的回答は昨年度に引き続き90%を超えている。授業の分かりやすさや人間関係の良さに関する設問も90%を超えていることから、これらが生徒自身の母校に対する好印象につながっていると考えられる。設問23「私は家で積極的に学習をしている(塾・通信教育等含む)」に対して、肯定的回答が82%で、大多数の生徒が学習に対して意欲的である反面、一部には学習に対して消極的な生徒もいることがわかる。(昨年度設問23に(塾・通信教育等含む)を追記。) 設問24、25「私は家の人と学校の出来事についてよく話をする。」「私は家の人とインターネット・SNSの利用についてよく話し合っている」に対して、肯定的な回答はそれぞれ80%、70%であった。昨年度と比較しても、数p上がっており、家庭でのコミュニケーションが取れていることがわかる。設問26「私は地域活動に積極的に参加している」に対して、肯定的回答が45%と、昨年度同様低くなっている。中学生主体の地域活動の機会がないことや、部活動や塾等で時間が取れないことが要因と考えられる。